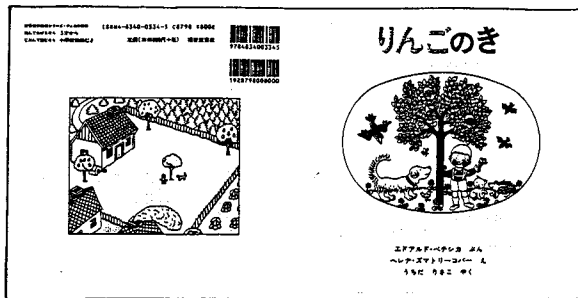


子どもたちといっしょに

「りんごのき」

エドアルド・ペチシカ ぶん
 ヘルナ・ズマトリーコバー え
 うちだりさこ やく

(福音館書店)



子どもにとって、一緒に育つ植物も動物も兄弟(姉妹)のように思えるのかもしれない。

甘〜い甘〜いりんご。この本は、子どもの絵本だと思っただけで悔っただけではない。りんごの木がどのようにして実をつけ、食べられるようになるのか、しっかり教えてくれています。

絵本はただ読むだけではありません。そこには生活の知恵も書かれています。子どもは、難しい漢字は読めなくても絵からそういった知恵を学んでいくのです。ぜひ読んであげてください。

おたよりをお寄せください

おもしろかった本のこと、好きな本のこと、みんなに読んでもらいたい本のことなど、なんでもいいです。

「キンギョがにけた」がおもしろかったです

「エルマーとリゆう」でみかん島でみかんを2人で19個も食べたという所がおもしろかったです

「クワガタムシ」のクワガタのくわがたの所がおもしろかったです

「ゾウと少年 - 僕たちの祈り -」水あびをしている所でゾウとゾウ使いが会話しているようにみえました

9月の行事 ブックバス

2 (金)		白根小 (3:00~3:50) 小林小 (4:30~5:30)	16 (金)	白根小 (3:00~3:50) 小林小 (4:30~5:30)
3 (土)	おはなし会 3:00~	新飯田農公 (14:30~15:00) 戸石公 (15:30~16:00)	17 (土)	新飯田農公 (14:30~15:00) 戸石公 (15:30~16:00)
7 (水)	絵本のじかん 3:00~	新飯田小 (12:35~13:20) 新飯田小 (13:30~14:30)	18 (日)	第59回読書会 1:30~
8 (木)		白根中 (12:55~13:35) 大通地C (14:00~14:40) 大通小 (15:00~15:45)	21 (水)	絵本のじかん 3:00~
9 (金)		白根中 (12:55~13:35) 白根小 (14:00~15:30)	22 (木)	
10 (土)	おはなし会 10:00~ おはなし会 3:00~	大通地C (14:30~15:00) 根岸農公 (15:30~16:00)	24 (土)	おはなし会 10:00~ おはなし会 3:00~
14 (水)	第29回おはなし会 絵本のじかん 3:00~	大鷲小 (12:30~12:55) 根岸小 (13:10~13:50)	28 (水)	絵本のじかん 3:00~
15 (木)		白根北中 (13:00~13:40) 大通小 (14:00~15:30)	29 (木)	

しろね図書館だより

発行 新潟市立白根図書館
 平成17年9月1日

No. 64

ご利用ありがとうございます。
 夏休みが終わって、本格的に秋... というわけにはまだまだいきませんが、虫の音やうろこ雲、田んぼや畑にも少しずつ秋の香が漂ってきています。

にらめっこ
 いしころ かずお

「版画のはらうたⅢ」
 子どものおこ
 のはらみん
 童話屋 詩

あざから ばんまで、ね
 そらと にらめっこしたよ
 あめだまの まねして、ね
 そらを にらんでやったよ
 そしたら そらが
 ぶははははと わらった
 ぶははははと わたぐもが
 ひろがった
 きょうの にらめっこ
 いしころのかち
 そらのまげ

8月の
 来館者 26,589人 (祝祭日除く)
 貸出冊数 14,767冊
 予約件数 159件
 ブックバス利用者 7人
 ブックバス貸出冊数 24冊
 (夏休み期間中、学校への巡回は連休)

リクエスト情報 (しばらくお待ち下さい)
 1位. ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 (5名)
 2位. 今がいちばんいい時よ 狐帽の人 電車男 花まんま ミック8 ファンタジー (2名)



第59回読書会 「おかしも今も」 山本周五郎 著 (新潮社)
 日時: 9月18日(日) 午後1:30~ (しろね図書館友の会 場所: 白根学習館ルーム2 (しろね図書館 共催)
 想う女性にどんな欠点があろうと、その女性を幸せにするために、すべてを犠牲にしようとする直吉。
 江戸庶民の人情と愛の感動作。

～ 図書館員がおすすめするこの一冊 ～

◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆
「空の名前」 高橋健司 写真・文 (光琳社出版) [ティーン451タ]
◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆



この本では、空や季節に関する日本語が「雲」「水」「氷」「光」「風」「季節」の6つの章に分けられて紹介されています。また、それらの言葉をイメージした写真も添えられ、その言葉が使われている俳句なども紹介されています。

実は私はこの本を読むまで、鯛(いわし)雲と鯖(さば)雲の違いを知りませんでした。鯛雲と鯖雲は雲の種類が違うのだそうなんです。両方とも魚だし、ちょっと雲の形(模様)が違うくらいなんだろうな、と思っていたのですが・・・。日本語のほかにも、外国の言葉もいくつか紹介されており、雨のイメージのある「スコール」は、『疾風(はやて)、突風のことで、本来の意味は急激におこる風速の著しい変化のこと』として「風」の章で紹介されています。その言葉の文字などから受ける印象でなんとなく「こういうものかな?」と思っているものも、この本の説明文や写真で、よりはっきり理解したり、もとの言葉の意味を知ったりすることができるのではないのでしょうか。そして、これまで何気なく見ていた自然の風景・現象にもそれを表現する言葉があるのを発見することができるかもしれません。

「雲」の章では、羊雲、羽根雲、蝶々雲などいろいろな形の雲が楽しめ、「季節」の章では、夏至、冬至、春分、秋分などが紹介され、日本の美しい四季の写真が楽しめます。「氷」の章では、雪国に住む私たちに馴染みのある言葉や風景が紹介されています。

言葉の意味を知ることができるほかに、いままでに自分が見た景色や、印象に残る風景・場面に似た写真を見つけて懐かしく思い出したりなど、きれいな写真を見ているだけでも十分楽しめる内容の本です。

夜、眠る前のひとときにおすすめの、明日の空が楽しみになる一冊です。

(内山 香)

いまもりみつひこ
写真家 今森光彦さんの講演会 「里山を歩こう」

忘れかけているこの美しい自然と一緒に再発見しましょう!!
日時:10月2日(日)午前10:00~12:00(午前9:30開場)
場所:白根学習館ラスベックホール ** 参加無料 **
主催 新潟市立白根図書館 後援 しろね図書館友の会
問い合わせ しろね図書館 ☎ 025-872-5510



第五十八回 読書会

平成十七年八月二十一日(日)
午後一時三十分~三時

「点子ちゃんアントン」

エーリヒ・ケストナー作
高橋 健一訳
池田香代子訳
(岩波書店)

お金持ちの家に生まれた点子ちゃんは、明るい性格で何事にも興味を示す、お茶目な少女です。母親思いの貧しいアントン少年との心温まる交流を次々と展開していくなど登場人物のユーモアに読者は微笑み、感動するとともに人生のあり方をじっくりと考えさせられ、大人も子供も楽しませてくれる友情物語。

参加者の感想

○ 一冊の本であるが、非常に中身が濃く2冊読んだ感じがした。内容的に

○ もそれぞれの章ごとに反省の部分を取り入れており単なる物語に終わることなく、十分考えさせられるものがあつて、じっくりと読んだ。

○ 点子ちゃんという微笑ましい名前が興味深く、しかもへんにかしこまつているところもなく、周りにこんな楽しい子供がいたらさぞかし楽しいだろうと思った。

○ 点子ちゃんの言葉遣いや動作が可愛らしく、演技・物まねも上手で本当に楽しい子供である。

○ 作者のケストナーは母思いであり、多少大げさな面も感じられるが、作品全体に前向きなユーモアが感じられる。

○ 点子ちゃんがアントンと親しく、しかも親に隠れて手伝いをするのは、自然に発生するものであつて決して無理をしてはなく、ましてやお礼をして貰うためでもなく、真の友情からくるものであつて、まさにこ

○ れらがボランティア精神にも通じるものと思う。

○ 養育係であるアンダハトさんの旦那は悪い人で、何でこんな人と結婚したのだろうと思うが、これを描くことで一方において、この物語のアクセントとなっている。

○ 働くことを「お金をもうける」といっているが、今風の表現ではない。

○ 身分や立場を超えた子供同士の友情をさわやかに描いてあり、全体に心温まる物語となつている。子供たちにも大いに希望を持たせてくれると思う。

次回の読書会は、山本周五郎作

「むかしも今も」

九月十八日(日)午後一時三十分

(坂井治一)